

事前評価個表

整理番号	6
------	---

地域（地区）名	わたらせがわ 渡良瀬川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	栃木県	対象市町村	あしかが 足利市ほか3市
事業実施期間	R4年度～R8年度（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、栃木県の南西部に位置し、東及び北は鬼怒川地区、西は群馬県、南は茨城県及び埼玉県に接する8市町からなっている（このうち、本地区の民有林面積の98%を占める4市において事業を実施）。</p> <p>本地区の総面積169千haのうち、森林面積は73千ha（森林率43%）、対象民有林は70千ha（森林全体の96%）、うち人工林は44千ha（人工林率63%）となっている。</p> <p>このうち、9割以上がスギ・ヒノキとなっており、北西部の鹿沼市及び南西部の足利市から佐野市にかけての山地は古くからスギ及びヒノキの人工林施業が盛んな地域である。民有林における人工林の年齢構成は、ピークがⅫ年齢級となっており、利用期を迎えた林分の皆伐が増加している状況にある。</p> <p>一方で、人工林のうち、間伐等を必要とするⅥ～Ⅻ年齢級の林分は55%を占めているが、林業採算性の低迷等により必要な施業の遅れが生じている状況にある。また、本地区では、シカ及びクマによる林木への食害・剥皮被害が大きいことも必要な施業が遅れている原因となっている。</p> <p>このため本事業では、伐採箇所における再造林、下刈り及び除伐を適正に実施するとともに、Ⅳ～Ⅻ年齢級（森林経営計画に基づく森林についてはスギⅩⅣ年齢級、ヒノキⅩⅥ年齢級以下）の林分については計画的に搬出間伐を実施する。なお、これらの施業にあたっては一貫施業の推進、森林施業の集約化及び路網整備を通じて施業の低コスト化を図るとともに、獣害対策を適切に実施する。</p> <p>本事業の実施により、水源涵養機能、山地災害防止機能等、森林の有する多面的機能の高度発揮を図るとともに、二酸化炭素の吸収による地球温暖化防止に寄与することを目的とする。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,779ha</p> <p>人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐、衛生伐等</p> <p>総事業費：4,860,994千円（税抜き4,419,086千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=3.43</p> <p>（総便益（B）=29,797,214千円、総費用（C）=8,685,804千円）</p>
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の多面的機能を高めるためにも必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：計画的な森林整備により、水源涵養機能、山地災害防止機能、二酸化炭素吸収機能等の高度発揮はもとより、木材等生産機能も確保されており有効である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

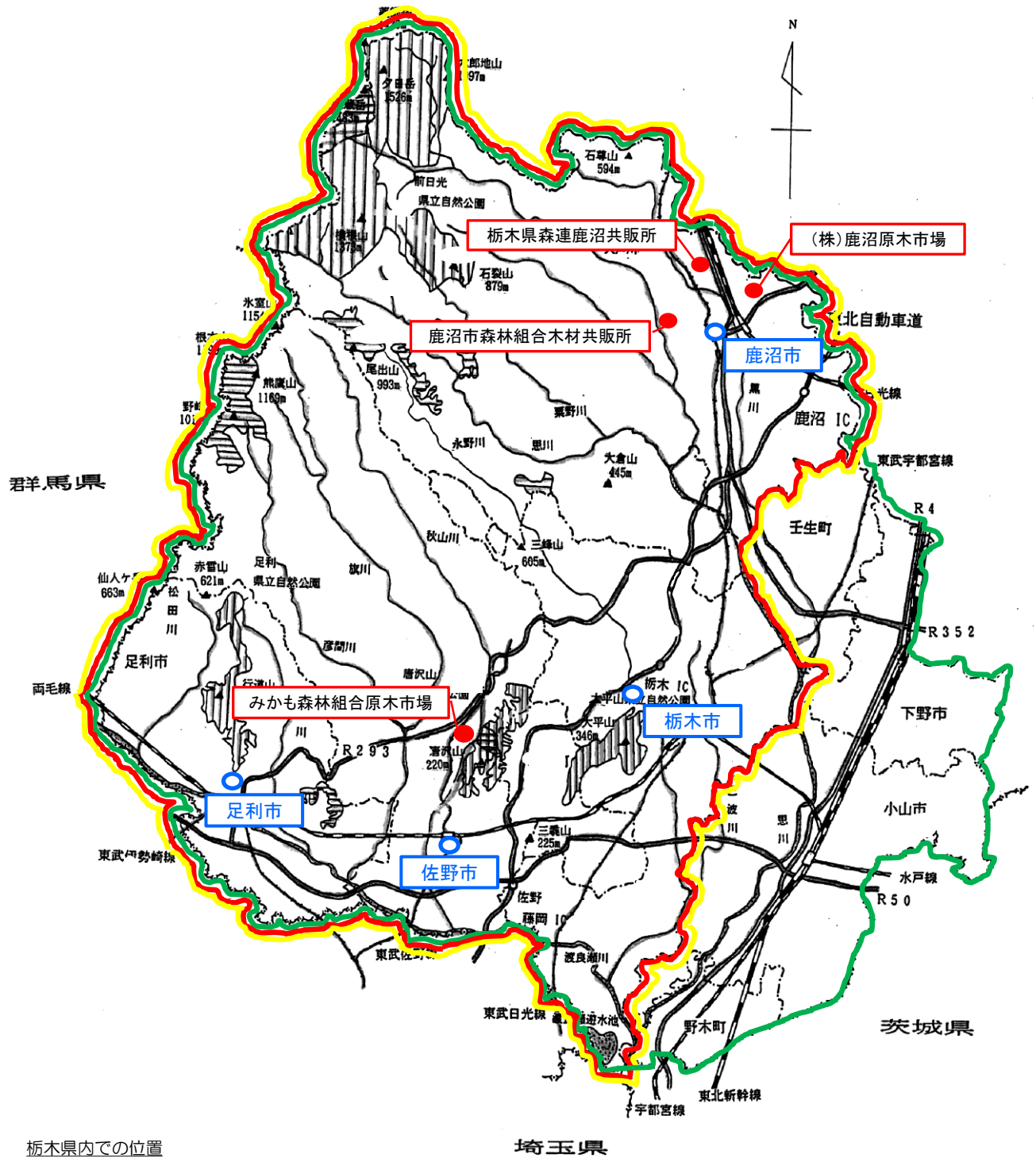
都道府県名：栃木県

地域(地区)名：わたらせがわ  
渡良瀬川

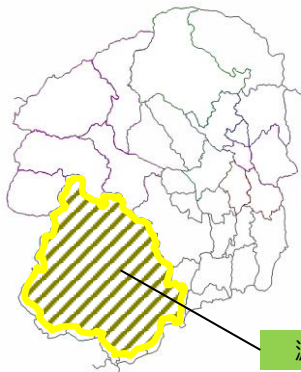
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	7,053,858	
	流域貯水便益	1,742,146	
	水質浄化便益	6,450,553	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,299,652	
環境保全便益	炭素固定便益	6,552,807	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,698,198	
総 便 益 (B)		29,797,214	
総 費 用 (C)		8,685,804	
費用便益比	$B \div C = \frac{29,797,214}{8,685,804} = 3.43$		

# 森林環境保全整備事業 渡良瀬川地域(栃木県)



栃木県内での位置



渡良瀬川地域

凡 例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	